

# 大和市協働事業提案 公開審査ワークショップ

2003年7月6日開催

発行：玉川まちづくりハウス・大和市市民活動課

2003年7月6日に大和市協働事業提案に関する公開審査ワークショップが行われました。先に関われた6月8日の公開プレゼンテーションで提案された17の協働事業は、約1カ月の期間で見直され、担当の協働推進会議委員と相談したり、行政所管課と調整を行って、より高い実現性を目指して再提案されました。当日は日曜日にもかかわらず各課の担当の行政職員が30名ほど参加し、提案者、市民の方とともに熱のこもった議論をやりとりすることができました。

## はじめに

開催に先立って清水市民経済部長より、本日のワークショップが大和市の協働事業の流れの中でのどのような位置づけになるのかについての説明がありました。

昨年の4月に市民活動推進条例ができ、この1年行政と市民とがどのように役割分担していくことができるかを検討してきました。今日出された17の提案は公開で議論された後、一定の目的をつけ、熟度の高いものを市長に提言していくことになっています。中には市民事業として行ったほうがよいと思われるもの、協働事業に適しているものと思えますが、「協働」というのは行政と市民と一緒に公共を運営していこうとするものです。

予算を伴う提案は、所管から予算要求をして、各団体と個別協定を結ぶことになり、議会に対する説明も必要になってきます。現在パイロット事業補助金を得て活動している事業もありますが、この制度は来年度から廃止になりますので、同じ「協働事業」の土俵の中で提案してもらうことになります。

特に予算を伴わないものについては随時協働事業として取り組みたいと思っています。あわせて、基金・拠点の問題も積極的に解決していきたいと考えています。

まったくルールのないところに、行政と市民の両方でルールを敷いていくという気持ちで前向きな議論をお願いします。

## 大和市協働事業の流れ

7月

**7月6日 公開審査ワークショップ**  
6月8日に出された提案に対して協働事業に適しているかどうか公開で審査します。(このニュースでお知らせしている会議)

**7月31日 第3回協働推進会議**  
市長への提言書の内容確認

8月

**8月上旬 協働推進会議から市長への提言**

9月

**9月 市長から検討結果の説明**

**協働推進会議の場で報告後、提案者へ郵送 HP等で公開**

**その後の動向を、事務局から定期的に協働推進会議へ報告**

3月

**16年度予算案**  
平成16年3月議会で審議・議決



続いて協働推進会議代表の林泰義氏よりあいさつがありました。



今日は協働推進会議の場で大勢の行政の方にも出席していただき、本来の「協働」の場になりつつあると感じています。協働推進会議は8割が市民、1割が行政、1割が専門家という構成で、このような試みは全国でも初めての事です。公共の場で前向きに情報を公開し、市民相互も連携し、行政も縦割りの壁を壊して横のつながりで協働していくことができれば、一歩ずつ前例のないところに道をつくっていくこととなります。市民の提案を行政がうけて検討する、市民側でもどんな仕組みをつくるか考える、双方に課題があり、チャレンジがあります。

### 協働事業としての実現性と可能性

まずそれぞれの協働事業提案について前回の6月8日の公開プレゼンテーションから約1カ月の間の調整経過の報告と提案内容の修正点について説明してもらい(再提案概要、別途資料)提案者、担当協働推進会議委員、行政所管課のそれぞれの立場から実現性と可能性について評価

しました。

さらに、もう少し熟度を高める必要がある、あるいは実現の可能性が難しいと評価されたものについて、その理由を明確にし、どうしたら協働の実現性を高めることができるかについて話し合いました。

(1) 提案事業名：子育て家庭サポート事業 (\*番号は提案の発表順)  
提案者・事業参加者：NPO 法人ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア

#### 実現性の評価

**調整経過報告と修正点のポイント**  
6月8日のアドバイスを参考に、協働事業となる部分と独自事業とすべき部分を整理した。



	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者	●		
行政所管課	● 児童育成課		
推進委員	●		

#### 工夫すべき内容についてのアドバイス

- ・ 財政負担の範囲を固め予算要求を！
- ・ 現在ファミリーサポート事業をがんばってやってもらっていると認識している。活動を支援していきたいと思う。(行政)

(2) 提案事業名：仮称マインドケア“ホールディング”セラピー、カウンセリング等による相談事業

提案者・事業参加者：植村美智子他立ち上げ呼びかけ人3名

実現性の評価

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課		 	
推進委員			

調整経過報告と修正点のポイント

高齢者福祉課、児童育成課と調整を行った。相談者の資質、ネットワークなども問題になるとのこと。まず2年後を目途に電話相談を立ち上げたい。



話し合いの結果確認された修正内容

- ・最初は市民事業としてスタートし、実績を積みニーズをつかんでから協働事業に発展してはどうか。(推進委員)
- ・児童虐待についても勉強中なので児童福祉課には今後も相談にのってもらいたい。(提案者)

(3) 提案事業名：障害児者に対する地域生活支援事業

提案者・事業参加者：NPO法人アシストやまと

実現性の評価

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

調整経過報告と修正点のポイント

障害福祉課とコーディネーター費用の負担、公共施設の提供などについて調整。行政の隙間を埋めるような活動を目指したい。



工夫すべき内容についてのアドバイス

- ・アシスト以外の団体と市が実施する場合、協働事業の位置づけを。(市の提案による)

話し合いの結果確認された修正内容

- ・全市的な活動との関係づけが必要か。(推進委員)
- ・限られた予算の中で他にも同様な活動をしている団体との調整が必要。(行政)
- ・他団体との協働を考えるとという方向もある。(推進委員)
- ・行政としてはよい意味で競争があってもよいと考えている。いろいろヒアリングをして考えていきたい。これからの施策の進め方を一緒に考えながら取り組みたい。これも広い意味での協働である。(行政)
- ・現在は市の直営事業となっているので新しい仕組みとして協働の可能性を追求してほしい。(推進委員)

(4) 提案事業名：移動制約者の外出介助サービス事業  
 提案者・事業参加者：NPO 法人ワークス・コレクティブケアびーくる

実現性の評価

**調整経過報告と修正点のポイント**

現在 173 名の対象者がいる。パイロット事業でなくなるとどうなるか不安。市のサービスの制約を超えたサービスを提供したい。3055 件、4000 時間の実績がある。



	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

工夫すべき内容についてのアドバイス

- ・財政負担の範囲を明確に！役割分担の位置づけ（支援のあり方、予算要求を含めて）
- ・他の移送事業者との協働を進める。（推進委員）

(5) 提案事業名：人工透析患者ならびに身体障害者、高齢者の通院・外出支援サービス事業  
 提案者・事業参加者：NPO 法人大和市腎友会

実現性の評価

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**調整経過報告と修正点のポイント**

現在 8 台の車両 15 名の運転手で活動。福祉課とタクシー券の問題、特区の制約などについて調整。車両や機関誌の広告主も募集したい。駐車場、情報提供、活動資金、国への働きかけなどの協働を行政に期待したい。



工夫すべき内容についてのアドバイス

- ・パイロット補助金はなくなる。支援策はなしか？（方向性を確認）
- ・市の協働事業の考え方として、事業対象者の範囲について（例えば市外の人の対応など）整理の必要があるのではないか。
- ・市内在住利用者の拡大実績をつくる（推進委員）

話し合いの結果確認された修正内容

- ・大和市内での実績が少ないことと会員数が少ないことで協働とするにはもう少し時間が必要か。（推進委員）
- ・提案者としては大和市外の病院を中心に活動していることを正當に評価してもらいたい。（提案者）
- ・提案者は福祉タクシー券の利用拡大を求めたいとのことだが、大和市のタクシー券は他市でも利用できる点を認識してほしい。他市の制度の改正については報告提言はできるが、管轄外なので結論は出せない。（行政）

(6) 提案事業名：ミニデイサービス事業

提案者・事業参加者：NPO 法人シニアネットワークさがみ

実現性の評価

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

調整経過報告と修正点のポイント

2年間の活動実績がある。活動拠点としてはこれまで通りの場所を考えている。市や社協と協働し多様なニーズに応えられる活動を望んでいる。



工夫すべき内容についてのアドバイス

- ・ミニサロン活動として市内でのモデル事業の実績をつくる。(推進委員)

話し合いの結果確認された修正内容

- ・市民事業として展開すべきではないか。(推進委員)
- ・地域の自発的なミニデイサービスは社協の11地区で行われている。行政としてはあくまでそれをソフト面など側面から支援していく立場をとりたい。(行政)
- ・プログラムなどもより地域のニーズにあったものをめざしていく。北部地域を中心に送迎サービスなども取り入れ、市と協働というよりいっしょに活動していくという気持ちで取り組みたい。(提案者)

(7) 提案事業名：健康増進 薬膳弁当配食サービス事業

提案者・事業参加者：NPO 法人シニアネットワークさがみ

実現性の評価

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

調整経過報告と修正点のポイント

「見守り型」から「健康増進・薬膳配食」をテーマに変更し、社協との違いを強調したい。



工夫すべき内容についてのアドバイス

- ・市民への広域的なサービス提供の実績をつくる。(推進委員)

話し合いの結果確認された修正内容

- ・市の協働事業となると市全体の巨大な規模でのサービスとなる。それよりも差別化した内容のサービスを市民事業として行うほうがよいのではないか。(推進委員)
- ・提案者としては協働事業になるのは少し難しいとの自覚はあったが、「薬膳のお弁当」ということを広くアピールするいい機会となった。(提案者)
- ・市の広報などで紹介することも協働と考えられるのではないか。行政としては協働事業だけでなく市民事業をPRする役割もある。市民活動も積極的に育てていくべきである。(推進委員)

(8) 提案事業名：青少年の自立支援協働事業  
 提案者・事業参加者：NPO 法人かながわ就職支援研修センター

**実現性の評価**

**調整経過報告と修正点のポイント**

産業振興課と調整。ハローワーク、商工会議所、経済団体などとの橋渡しを行政にお願いしたい。大和市発の青少年自立支援をモデルケースとしたい。



	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・支援策の範囲を明確に！費用負担があるのか？必要な予算をつめる！

(9) 提案事業名：思春期・青年期の青少年たちが主体的に運営する「こどもの館」(仮称) づくり事業

提案者・事業参加者：市民団体「共育ちプラザ・まんまの自分」

**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**調整経過報告と修正点のポイント**

青少年センター、渋谷学習センター、市民活動課と調整。児童館全館利用は難しいと理解した。まず実態調査として中・高生へのアンケートを協働したい。



**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・思春期世代の心のケアは行政事業より市民事業のほうが効果を上げ得る。ぜひ協働推進すべき。まずは調査活動から。
- ・「新渋谷中学校地域交流館企画運営事業」との協力ができないか？
- ・調査活動やサポートを通じて、次回は青少年たち自身から協働提案がほしい。(推進委員)
- ・第一段階を協働事業とする際は支援策をつめること！

**話し合いの結果確認された修正内容**

- ・の新渋谷中学校の提案事業と場所の利用を協働できないか。(推進委員)
- ・前回のプレゼンテーションで希望した児童館の専属利用の要望は今回取り下げている。(提案者)
- ・場所の問題でなく、まず青少年の実態アンケート調査ならば協働の可能性はある。(行政)

(10) 提案事業名：遊休農地の活用について  
 提案者・事業参加者：山口昭三

**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**調整経過報告と修正点のポイント**

市民活動課、農政課と調整。農地法の関係で土地を借りることが困難であることを理解したので、県の制度を参考に中高年ホームファーマー制度を提案したい。

**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・農地活用に関する制度検討（提案者）
- ・事業に必要な農地を確保できるのか。

**話し合いの結果確認された修正内容**

- ・協働とはすぐに事業化できるものもあるが、行政と提案者が歩み寄って案を練っていくものもある。この事業はそれに当たると思う。（推進委員）



(11) 提案事業名：土地区画整理事業等における遊休地を利用した景観美化  
 提案者・事業参加者：NPO 法人ラブサポートセンター

**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**調整経過報告と修正点のポイント**

渋谷土地区画整理事務所、情報政策課と調整。協働の役割分担について確認。現在活動している「(財)大和市みどりのまちづくり振興財団」とも協働を図りたい。

**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・LOVES 活用への期待（ネットワークの広がり）
- ・遊休地の利用 花壇 行政資産の目的外使用か？  
 開放か 観賞用か？
- ・維持管理がきちんとできるか？責任の所在



(12) 提案事業名：生涯学習センターホール、リフォームセンター検討プロジェクト(仮称)  
 提案者・事業参加者：与田晃一

**調整経過報告と  
修正点のポイント**

企画政策課、生涯学習センターと調整。市民と行政がともに発案者となり、知恵を出し合ってリフォームを行うことを前提に協働する。

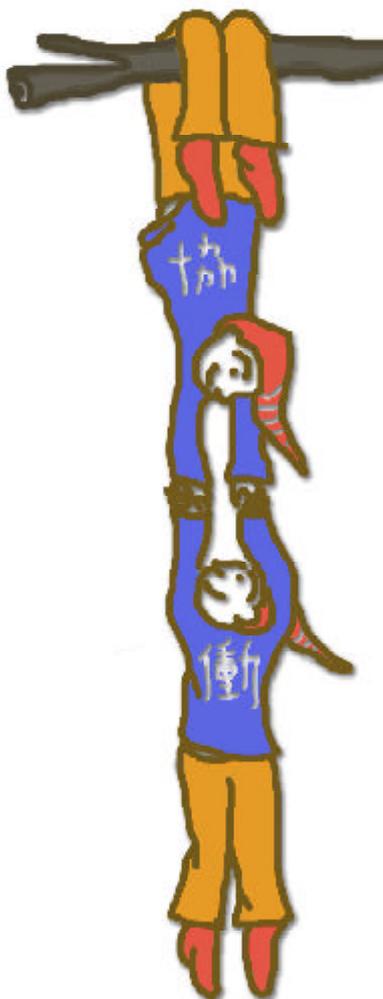


**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・知恵を出し合うといっても実現性があるのか？実施計画との関連は？
- ・具体的にどこまでリフォームするのか？予算案は？



(13) 提案事業名：新渋谷中学校地域交流館の新しい公共づくりに基づく企画運営事業

提案者・事業参加者：NPO法人かながわ環境教育研究会

**調整経過報告と  
修正点のポイント**

生涯学習センターと調整。特別教室の開放を含めて取り扱うこととするなら、所管課は前向きに検討。



**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・本当に具体化できるのか？期待だけではダメ！

(14) 提案事業名：環境および健康等の問題の改善活動  
 提案者・事業参加者：NPO 法人 IHTB（認証申請中：代表 / 早川成昭）

**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**調整経過報告と修正点のポイント**

今回は身体障害者の自立と雇用創出の目的もあったが、教育委員会と調整の後、「住まいによる健康被害をなくす」ということにテーマを絞った。



**工夫すべき内容についてのアドバイス**

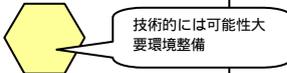
- ・当面市民事業としてネットワークをつくってください（推進委員）
- ・シックハウスについての学習をいろいろな場を通して広げていきたい。

**話し合いの結果確認された修正内容**

- ・前回のプレゼンテーションでは教育に話の重点が偏りすぎていたので軌道修正したようだが、そのため事業内容そのものが見えにくくなってしまった。（推進委員）
- ・環境問題は複合的な問題なのでどこと協働するか明確でない。（提案者）
- ・の新潟谷中学校と協働し、子どもに環境問題を考えてもらうことも考えている。（提案者）
- ・今回協働事業となるのは難しいことは理解したが、環境問題に関心をもってもらえる機会がもてたことに満足している。（提案者）

(15) 提案事業名：下水汚泥を再利用した製品開発  
 提案者・事業参加者：間瀬富隆

**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**調整経過報告と修正点のポイント**

土木総務課と調整した結果、提案者をグループに変更することを検討。他市の情報も入手しコストダウンと効率化を図りたい。



**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・調査、研究のネットワークを広げてください（推進委員）
- ・研究体制・場所を確保していくのが第一です。
- ・個人の方の提案で協働事業が実現できるよう協働してがんばっていききたい。

(16) 提案事業名：やまと太陽光発電設備設置プロジェクト  
 提案者・事業参加者：やまとエコデザイン会議

**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**調整経過報告と修正点のポイント**

管財課、環境総務課と調整し、構造的にも可能。今後運営組織を立ち上げて対応したい。



**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・維持管理費を含めた全体の仕組みづくりが不足では？（費用対効果）
- ・行政の役割分担の明確化と次のステップ、この事業を何につなげていのか（環境総務課）
- ・設備機器収納箱の具体的な三面図を作成してください。
- ・破損時等の連絡系統の確立
- ・資金集めの具体的な方策をつめましょう。（一口500円？募金活動？）積極的に集める方策を！
- ・基金の募集をもっと具体的に示してほしい。

**話し合いの結果確認された修正内容**

- ・これから何をなすべきかが、この話し合いで明確になった。提案者に更に検討してもらいたい。（推進委員）

(17) 提案事業名：市内の自転車シェアリングのための調査研究・試験運用事業  
 提案者・事業参加者：NPO法人かながわ環境教育研究会

**実現性の評価**

	(1) 実現性が高い	(2) 熟度を高める必要がある	(3) 実現することが難しい
提案者			
行政所管課			
推進委員			

**調整経過報告と修正点のポイント**

市川市のコミュニティサイクルのヒアリングを行った。行政もともに勉強するという意味で協働を目指す。担当部署がいくつかにまたがるので部署間の調整が問題。

**工夫すべき内容についてのアドバイス**

- ・コミュニティサイクルについて、市川市のモデルをそのまま導入するのではなくレンタサイクル等の方法についても検討してはどうか。（行政）
- ・来年度の調査費の獲得をがんばってください。（推進委員）
- ・協働推進会議の委員、提案者の立場をわきまえ、協働の精神に基づいて一つひとつのことをすすめてもらいたい。後からの報告、承知では大変困る。

**話し合いの結果確認された修正内容**

- ・市内の調査、他市のデータが少ないのでさらに熟度を上げてもらいたい。（推進委員）
- ・放置自転車問題は非常に解決が望まれる問題なので、その点ではともに調査を進めたい。（行政）
- ・すぐに協働事業としてスタートできなくても、市民といっしょに考え、調査しプランをつくることを第一の目的としたい。そこで協働の可能性が見えれば、実施に向けて努力したい。（提案者）

## まとめ

この日の公開審査ワークショップのまとめとして林協働推進会議代表からあいさつがあり、この公開審査ワークショップへの感想を「ご意見カード」に記入していただいて閉会しました。



今日の提案は、市民の側から行政への協働の提案でしたが、今後は行政の側から市民に協働を提案するという形も考えられます。このような開かれた場を双方で積極的に活用していきたいと思います。

活発な議論が交わされ、市民の受け取り方、行政の考え方などお互いに理解を深められたと思います。

このような場で、どのような人が大和市にいるかを知り、新しいネットワークをつくる機会になればと願っています。

# ご意見カードから

プレゼンの内容も大変興味深く、勉強になりました。と同時に、提案があり、提案者・行政・委員がしっかりと意見をし、理由を明確にして改善していこうとする当たり前の議論ができる場であることが、すばらしいと思いました。

シニアネットワークさがみさんの二つの提案は、やはり協働事業として可能と思う。北部だけでも選択の幅が広がるのはよいと思うし、広報することも協働となるとすれば、十分協働できると考えられる。

社協について協働推進会議でも話題にすべき。社協がやっているから……という市職員の発言があったが、社協は協働事業なのか？協働でないとすればなぜ競合する存在になるのか？それらの関係をよく整理しておくべきと思う。（協働推進会議委員）

本日の林委員代表の締めくくりの言葉「行政から市民に呼びかける形の協働もある」との一言を大変心強く拝聴しました。私の提案はまさに「行政の側も私といっしょになって呼びかけてほしい」ということに尽きるのです。何卒よろしく願いいたします。

当然のことながら私自身も必要とあれば「市民側の呼びかけ人代表」を引き受けるつもりであります。（提案者）

使っている用語がわかりにくいです。前回提案者となっていたものが、事業主体と実施の体制が変わっていたり、「実現性が高い」というのも、どの段階での話かわかりにくいと思います。（提案者）

前回のワークショップが活かされた再提案が多くありました。公開審査の良さ、意味がよくわかりました。ありがとうございました。

行政のみなさんがきちんと参加してくださって、とても有意義な公開審査となりました。協働事業、市民事業について、いっしょに考える場をつくることができたのは、大和市にとって歴史的な大事件でした。（協働推進会議委員）

協働事業として主体に何を期待していますか？のところに「人件費すべて」との記述要望があったら、それは市の委託ではないのでしょうか？協働事業の定義を提案者側とよく調整を行ってください。本来「協働」というのは、提案者側・行政がいっしょにやっていくもので、経済支援・場所の確保だけを希望されてもいかがでしょうか。（行政）

初めてのことであり紆余曲折あったと思いますが、協働事業の定義が担当課としてははっきりとわからなかったことは事実です。いろいろな提案が聞けたことは勉強になりました。（行政）

ステップ5についての確認はいかがでしたか？特に『子どもの館づくり』について、確認してほしかったです（第一段階としての評価）。

熟度を高める必要あり、と評価された案件について、以後どのようにフォローされるのか。協働推進会議としての見解はどうなっているのでしょうか？

提案者側としてはもう少し周辺を調査してみるつもりですが、これを発表する機会はあるのでしょうか。（提案者）

**協働推進会議委員は以下の通りです。  
(五十音順)**

池本薫 市村輝実 伊藤健司 内海麻利  
内田俊 内田哲世 宇津木朋子 岡島順子  
河崎民子 小杉皓男 小林敏興 中村一夫  
林泰義 平塚恵一 藤田高恵 百瀬比奈子  
渡邊敦 渡辺精子  
清水和男(職員メンバー)  
熊谷薫(職員メンバー)

**当日参加した行政所管課は以下の通りです。**

情報政策課  
契約管財課  
市民活動課  
交通安全対策課  
農政課  
産業振興課  
環境総務課  
福祉総務課  
児童育成課  
高齢者福祉課  
障害福祉課  
土木総務課  
事業管財課  
教育総務部総務課  
教育総務部指導室  
教育総務部教育研究所  
生涯学習センター  
青少年センター